

校友会報



Contents

研究室から（教育学部）

校友インタビュー

ホームカミングデー

校友会活動報告

- ・社会福祉学部3期生
タイムカプセル掘り起こしイベント
- ・はりま支部 交流会
- ・剣道部 活動報告書

お知らせ

- ・日本学生支援機構奨学金
- ・地域連携フォーラム

大学の様子

- ・能登半島地震復興支援ボランティア

部活動報告

インフォメーション

- ・ひとくちメモ（大学概要）
- ・結婚式祝電サービス
- ・姓名・住所等変更届のお願い
- ・個別校友会助成のご案内
- ・第2回 赤穂ゴルフカップ



校友会  Instagram

フォローお願いします

大学の様子・校友会の活動等のお知らせします。
是非、ご登録ください。

https://www.instagram.com/kusw_kouyukai/
アカウント: kusw_kouyukai



研究室
から

From laboratory

保育士養成20年

関西福祉大学教育学部 服部 伸一 教授

関西福祉大学は平成9（1997）年4月、社会福祉の単科大学として開学しました。平成16（2004）年には、社会福祉学部「児童福祉コース」が設置され、保育士養成課程が誕生しました。その後、平成20（2008）年に、保育士資格に加え、幼稚園教諭1種免許状と社会福祉士がトリプル取得できる「子ども福祉専攻」となり、改組を経て教育学部児童教育学科幼児教育コースに受け継がれています。保育士養成が始まって20年が経過し、これまでに560名の学生が保育士資格を取得して卒業していきました。

私は、児童福祉コースの開設から保育士養成に従事しており、自身の専門科目に加え、主に実習指導を担当してきました。「子ども福祉専攻」の時代には、学生のふるさと（出身地）での実習を認めていて、広く九州、中四国、近畿の保育施設に足を運んでおりました。

福岡県朝倉郡筑前町にある実習先を訪れたときのことです。学生指導の後、園長先生から、「先生、ぜひ帰りにすぐ近くの太刀洗（たちあらい）平和記念館に足を運んでください。かつて太刀洗飛行場のあった場所です。戦時中、多くの若者がお国のためにここから飛び立っていきました。」と促して下さり、戦闘機「震電」の実物模型や特攻に関わる貴重な資料を拝観することができました。

また、京都府京丹後市の保育施設を訪れた際には、最寄り駅からタクシーもバスもなく、宿泊先のご主人の厚意により、「〇〇旅館」と記されたワゴン車でまで実習園まで送迎していただきました。そんな地元の方々の人情を感じながら、学生が育った風景を眺めて



旅することが大好きでした。その度に学生との距離がぐっと縮まった気がしたものです。

写真は児童福祉コース時代の私のゼミ生2名が、令和6（2024）年10月6日に大学を訪ねてきてくれたときのものです。その一人（右側、井登祐輔さん）は群馬県で美容室を経営しています。業務の傍ら、社会活動として年に1回、仲間を集めてタイのバンコクにある児童福祉施設で奉仕活動（子どもの散髪・美容）を行っているとのことでした。「本学で児童福祉を学んだことをいつか何らかの形で実践したいという夢が叶いました。」と輝く笑顔で報告してくれました。左側の松重隆志さんは、岡山県内の障害者施設の中堅職員として、一貫して障害者福祉に従事しており、自閉スペクトラム症の方々とその家族を支援する活動にも精力的に取り組んでいるとのことでした。

本学で出会ったお一人お一人の厚意と善意に支えられ、今日まで勤務することができましたことを心から感謝いたします。本学において、保育士養成の側面から有用なる人材を世に送り出すことが私の使命であると自覚し、これからも歩みを続ける覚悟です。



筑前町立太刀洗平和記念館で展示されている
震電の実物大模型
（産経新聞Webサイトより）

校友インタビュー

Q 現在のお仕事について

所属する組織で働く職員みんなが、自分の子どもにもここで働いてほしいと思えるような職場にしていけるために、また、地域から、なくてはならない組織だと思ってもらえるようにしていくために何が必要かを考え、方向性づくりやみんなの意見をまとめ様々なことを企画推進し、組織強化を図る仕事をしています。

職場内で「他部署にどんな職員がいてどんな仕事をしているか分からない。」と言う声から、各部署の仕事の内容を紹介し合う「職場内大発表会」を行ったり、市内の社会福祉法人を回り運営の悩みを聴く中で、人材の定着につながる取り組みとして、「新任期の社会福祉法人職員座談会」を実施し、分野を超えた横のつながりづくりを実施したり、人材育成や社会福祉協議会の可能性を広げることにチャレンジしています。また、社会福祉実習の受け入れにも積極的に取り組んでいます。

Q 資格取得など、現在の目標（将来の夢）

社会福祉協議会で地域福祉の推進に取り組んできた中で、ネットワークも広がり、困った時に相談できる仲間も増えて、

相談に対応できることも増えてきたと思います。私自身、住民としても地元の地域福祉にずっと関わっていきたいという思いと、若い福祉人の育成に携わりたいという夢があります。

Q 就職活動や学生生活について、後輩へアドバイス

私が、この人と一緒に働きたいと思えるポイントは、主に2つあります。与えられた仕事に興味や関心をもって主体的に取り組んでいける人かどうかと、あいさつや時間厳守を日頃からきちんとできる人かどうかです。日頃から、様々なことに思いや関心をもって取り組んだり、あいさつをするなど誠実さをもって、過ごしていただきたいです。

学生生活では、友人達と夜遅くまで語り合ったり、学生時代にバイト先で自身の成長につながる指導をいただいたり、地元の手話サークルでの活動、児童館の豆まきで青鬼役など、赤穂で多くの方と出会い、たくさんの経験をさせていただきました。卒業後20年以上たった今でも、第2の故郷での思い出として大きな心の支えになっています。ぜひ、赤穂でたくさんの思い出をつくってほしいです。出会いと経験は最高の宝です。



重野 弘樹さん

社会福祉学部 社会福祉学科 2期生
平成13年度（2002年3月23日卒業）
社会福祉法人近江八幡市
社会福祉協議会
総務課 企画推進グループ
事務局次長



岡 若奈さん

教育学部 児童教育学科 5期生
令和3年度（2022年3月23日卒業）
西栗倉村
西栗倉村立西栗倉幼稚園
幼稚園教諭 年長担任

Q 現在のお仕事について

幼稚園教諭3年目です。年長さんの担任をしています。初めての年長担任ということもあり、新しい刺激でいっぱいの毎日を過ごしています。環境1つで子どもは思ってもみないような発想や発見を行います。子どもたちが主体的に「やってみたい」と活動できるように日々保育環境を再構成しています。子どもと関わる中で悩むこともあるけども、子どもたちの楽しむ姿や笑顔を見るとやりがいを感じる仕事です。

Q 資格取得など、現在の目標（将来の夢）

私は今、保育士資格と幼稚園教諭1種免許を取得しています。幼稚園教諭として経験を重ねるごとに、支援を必要とする子への援助についてもっと学んでいきたいと思うようになりました。子ども一人ひとり、特性は違っていてその子にあった支援をすることで子どもはどこまでも成長することができる無限大の可能性があると思います。

そのため、現在の目標は児童発達心理士の資格をとることです。

Q 就職活動や学生生活について、後輩へアドバイス

社会人にも楽しいことはあるけどやっぱり1番楽しかったのは同じ目標に向かって頑張る友だちと過ごした学生生活です！就職活動を一緒に乗り越えた友だちとは今でも互いに励みとなっています。就職活動は1人ではありません。支えてくれる先生や友だちを大切に最後まで諦めなかったら夢は叶います！

働きはじめると、休みの日にはクタクタで勉強するやる気がでないのが正直なところです。（笑）なので学生のうちにもっと勉強をしておけば良かったなと思います。また、ボランティアやアルバイトで保育に関わる仕事を経験しておいたらよかったなと思います。しかし、勉強ばかりではなく学生という楽しい時間を大切に！

Q 現在のお仕事について

私は、現在六甲アイランド甲南病院の地域包括ケア病棟の看護師として働いています。主に一般病棟で病状が安定し、慢性期に入る患者さんが入院されています。様々な理由で自宅退院が困難な方の退院先を決定する支援や、在宅での療養に不安があり、もう少しの入院治療やリハビリテーションを必要とされる方の支援をしています。患者さん本人だけでなくご家族の意向も汲み取り、患者さんが今後どのように暮らしていきたいかという望みに少しでも沿えるよう、多職種と連携しながら日々看護を提供しています。

Q 資格取得など、現在の目標（将来の夢）

大学の時に保健師の資格も取得したので、今すぐには考えていませんが、いつか病棟での経験と保健師の資格を活かせる仕事にも挑戦してみたいと思っています。

Q 就職活動や学生生活について、後輩へアドバイス

私が就職先を決める際、当時は特に興味のある診療科や理想の看護師像もなく、そのことに自分自身でも不安を感じ悩んでいました。しかし研修が充実しており教育体制が整っていることを決め手に現在の職場に就職し、今では興味のある分野や、理想の看護師像も明確になってきました。自分がどのような看護師になりたいのか、どうキャリアを積んでいきたいのかが分からず将来の方向性に不安を感じている方もいらっしゃると思いますが、実際に経験を積み臨床での学びを得ることで見えてくることもありますし、就職したところが自分に合わないと感じることがあっても他に選択肢はたくさんあるので、あまり気負わずに就職活動や勉強に励んでほしいなと思います。

また、就職するとなかなか頻繁に友達に会える機会がないので、ぜひ大学生の今のうちに友達と色んなところに行き遊んだり、たくさん話をしたり学生生活を目一杯楽しんでたくさん思い出を作ってください！



田中 聖乃さん

看護学部 看護学科 12期生
令和2年度（2021年3月23日卒業）
公益財団法人甲南会
六甲アイランド甲南病院
正社員

ホームカミングデー



令和6年10月5日(土)・6日(日)に関西福祉大学
校友会ホームカミングデーを開催しました。

お天気も心配されましたが、2日間合計で91名の卒業生が帰ってきてくれました。

懐かしいお友達、教職員との再会を楽しまれています。今年度のイベントは、特別企画として、関西福祉大学『MHSWの会』主催で基調講演を開催しました。

関西福祉大学 MHSWの会



第28回汐風祭に合わせ、関西福祉大学MHSWの会では、ホームカミングデー特別企画として、児童精神科医の三木崇弘先生をお招きし、「多様なこどもに向き合うための福祉・保育・看護のこころ構え」をテーマにご講演いただきました。校友会会員や一般参加者を含む30名以上が参加し、講演は非常に実りある内容となりました。

近年、DEI(ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン)の考え方が様々な分野で重視されており、福祉や医療、教育の現場でもその重要性が増しています。DEIとは、多様な背景や価値観を持つ人々を尊重し、公平で包摂的な社会を実現するための理念です。三木先生の講演では、DEIの概念を児童福祉の視点からわかりやすく説明し、特に「多様性を尊重する」というだけでなく、子どもが持つ特有のニーズにどう応じていくかが重要であると強調されました。医師としての立場を超えて、福祉に関わる支援者が、現場でどのようにこの視点を持ちながら子どもたちに寄り添うべきかを深く掘り下げたお話でした。

実際の現場では日々の業務に追われ、支援を必要とする方々にどのような姿勢で接するべきかを意識することが難しいこともあります。しかし、母校の地で改めて、自分たちが何を大事にしながら仕事をしていくのか、福祉の視点から考える貴重な機会となりました。福祉・保育・看護の現場において、DEIの理念を実践に落とし込み、すべての人がその個性を尊重されながら支援を受けられる社会の実現を目指していくことの重要性を再確認できた一日でした。

関西福祉大学 MHSWの会
社会福祉学部 5期生 藤井宏昭

令和5年度卒業生対象 ホームカミングデー(看護学部)

令和6年7月10日(水)に2024年3月看護学部卒業生を対象としたホームカミングデーを開催しました。38名の卒業生が来場し、同級生や恩師と再会して、ひとときの談話を楽しみました。どの卒業生も社会人らしくしっかりした表情に変わっていました。まだまだ悩みや不安が尽きない時期ではありますが、母校でリフレッシュしてもらえたと思います。

今後の活躍も大いに期待しています!



社会福祉学部3期生 タイムカプセル掘り起こしイベント

活動日時 令和6年11月2日（土）

13時30分～20時00分

参加者数 社会福祉学部3期生 23名

教員 1名

令和6年11月2日、社会福祉学部の3期生によるタイムカプセルの掘り起こしが行われました。このタイムカプセルは、平成15年の卒業時に図書館横の中庭に埋めたもので、約21年ぶりの開封です。イベントには、鹿児島や静岡など、遠方から21名の卒業生が集まり、懐かしい顔ぶれが一堂に会しました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、卒業生たちは中庭でタイムカプセルの掘り起こしを行いました。中からは、学生時代の思い出の品々が次々に出てきて、参加者たちは懐かしい記憶を呼び起こしながら、その一つ一つを手に取り、過ぎ去った年月を感じながら歓声を上げました。

その後、キャンパスツアーが行われ、卒業生たちは新しくなった教室や校舎を見学しました。変化のある母校の風景に驚きつつも、懐かしい場所を巡りながら、再び大学の魅力を感じる時間となりました。

本イベントには教職員も参加し、懇親のひとときを楽しみました。久しぶりの再会に、和やかな雰囲気の中、思い出話に花が咲きました。

次回は、6年後の50歳での開催を目指したいということでした。校友会としても、引き続き多くの卒業生が交流できる機会の提供を行っていきたいと思います。



はりま支部 交流会

令和6年度のはりま支部会員交流会は初の姫路開催でした。

プログラムは、まず今年の総会で好評だった「マイキャリア」。今回は社会福祉学科6期生の三好俊彦さん、同学科12期生の位田和基さんが発表してくれました。



卒業後の歩みを、その時々思いも合わせて丁寧に話していただき、参加者も真剣な表情で聞き入っていました。

テーマトークでは興味があるテーマで集まったグループだけであって大いに話が盛り上がり、「全然時間が足りない！」という状況でした。もちろんその後の懇親会で引き続き熱いトークを繰り広げました！

参加者からは、年齢や立場は違うけれど、同窓生ということで垣根なく色んな話ができるので学びや気づきが多いという声をもらっています。毎回「はじめまして」の参加者がいるので、今まで参加していなかった方もご安心ください。

支部会員交流会等に興味がある方はお手数ですがこちらへご連絡ください。

今後ともよろしくお願いいたします。

特別養護老人ホーム清華苑 電話 078-934-0800
(はりま支部長 田村)

剣道部 活動報告書

2024年7月20日 関西福祉大学剣道部女子監督である中島先生の送別会を行いました。

中島先生は2012年に関西福祉大学の職員として入職され、同時に剣道部の指導に携わられました。

この12年間で、全日本女子剣道選手権大会出場（2021年）、全日本女子学生剣道優勝大会出場3回（2013年、2014年、2023年。BEST16進出2回）、全日本女子学生剣道選手権大会出場3回（2021年、2022年、2024年）、関西学生女子剣道優勝大会BEST8入賞（2023年）と学生達を全日本出場、関西大会入賞へと導いてくださいました。

私自身、今年の3月に前期日程を以て、退職されるというお話を聞いてショックでしたが…これまで指導して下さった感謝と労い、郷里での新しいスタートをお祝い出来るように…との思いから、今日の送別会を開催させていただきました。送別会には沢山のOB・OG・現役生が集まってくださり、とても賑やかな会となりました。また、送別会を開催するにあたり、OB・OGの先輩には記念品購入にご協力いただきました。ありがとうございました。

最後になりましたが…中島先生。長きにわたって剣道部を指導していただき、本当にありがとうございました。先生の指導のおかげで、今の剣道部があります。退職後は郷里へお帰りになるとのことですが、遠くから剣道部の活躍を見守っていただけたら幸いです。お身体に気をつけてお過ごしください。先生の新しいスタートをOB・OG・現役生一同応援しております。12年間お疲れ様でした。

関西福祉大学剣道部OB・OG会代表 松浦 聡志（平成22年度卒業生）

※今回、中島先生への記念品購入をギフトショップAIM様をお願いしました。素敵な記念品をありがとうございました。そして昨年度の懇親会に続き、今日の送別会開催を引き受けて下さりました民宿レストラン初音様。美味しい料理・飲み物を提供していただきありがとうございました。



日本学生支援機構奨学生であった卒業生の皆様へ（日本学生支援機構からのお願い）

在学中のさまざまな機会で説明会を行い、資料を配布しておりましたが、改めて〈注意喚起〉のためにお知らせさせていただきます。

皆様の返還金は、在学中に設定したリレー口座からきちんと引き落とされていますか。
口座振替の手続きを行っていないため日本学生支援機構から請求書を受け取って、まだ支払いが済んでいないようなことはありませんか。もう一度、ご確認ください。

万一、返還が困難な場合は、返還期限猶予制度や減額返還制度などの仕組みがありますので、〈日本学生支援機構奨学金相談センター〉に電話してください。ご相談の際には、奨学生番号をお忘れなく。

奨学生であった皆様の返還金は、次の奨学金の原資となります。皆様の後輩学生のためにも、皆様に格別のご留意をお願いする次第です。

日本学生支援機構奨学金相談センター

電話 0570-666-301

海外からの電話、一部携帯電話、一部IP電話

専用ダイヤル 03-6743-6100



詳しいことを知りたいときは▶

第9回 関西福祉大学 地域連携フォーラム



令和6年度東備西播定住自立圏形成推進事業である地域連携フォーラムは、例年にはない若い方をターゲットとして、実業家のROLANDさんをお迎えし、有意義な時間を過ごしました。開演1時間前から数名来られ、大勢の観客で会場は埋め尽くされ、歓声や笑い声で盛り上がりました。講演は質問形式で行われ、テーマは「人生は自分次第—誰もが主役になれる秘訣—」とし、自分の生き方は自分で決めてすめ！と、背中を押される講演内容でした。

有名芸能人とは縁がない初老の私はどのような話が聞けるか…と思っていましたが、気が付いたらうなぎ、納得し、メモを取っていました。ROLANDさんは、自身の哲学をお持ちで「自分に素直であれ」と若者だけではなく老若男女に共通することとして自分が進みたい道を進んでいい、と後押ししてくださいました。自身の土台が高校時代に目指していたものの挫折から始まっており、その経験からエネルギーな生き方に無駄はないと語られました。また、自身の理念に「ロマン：利益＝7：3」があり、自分の生き方の美学を貫いていることも話されました。人間にしかできないこととして欲求よりプライドを優先し、人として自分と向き合うこと、さらには、年齢はどう生きてきたかが重要であると信念がありました。そして最後に「人生は1つの映画であり、映画の大小は関係なく、主役は自分だから自分で決めろ！自分の舞台を降りるな」と、力強い言葉を残されかっこよく去って行かれました。

【関西福祉大学】地域連携フォーラムチラシ

大学の様子

関西福祉大学 萬代ゼミ 能登半島地震復興支援ボランティア

この度の令和6年能登半島地震および令和6年9月の豪雨により被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

令和6年8月8日から11日までの期間、関西福祉大学の学生19名が石川県輪島市にて、令和6年能登半島地震の復興支援ボランティア活動を行いました。この活動は社会福祉学部3年生の「社会福祉実習Ⅱ」が企画・実施し、学内で募集したボランティア3名（社会福祉学部3年生1名、教育学部2年生2名）も共に活動しました。

現地では、受け入れ団体である「NPO法人紡ぎ組」の皆様が活動されている深見センターにて、草刈りや清掃活動などに取り組みました。また、近隣の岩崎さんの全壊したご自宅で瓦礫撤去作業も行いました。学生たちは「人を助けたい」という思いから、瓦礫撤去の作業に休む間も惜しんで真剣に取り組みました。

活動の最後には、岩崎さんと「NPO法人紡ぎ組」の佐藤克己さんから被災時の経験談を伺い、日常の中にある当たり前の家や町が災害により一瞬で失われることを知りました。そして、「平和ボケ」することなく災害に備えることの大切さを学ぶ貴重な機会となりました。



部活動報告

ゴルフ部

指定強化クラブ ゴルフ部1年目で躍進



「強く、大きく、美しく」をスローガンに、2024年4月にスタートしたゴルフ部。団体戦となる関西学生春季学校対抗戦1部に昇格し、秋季も1部6位で1部を維持。男子は春季で2部昇格、秋季も2部2位で維持となり、素晴らしい団結力を見せてくれました。

個人戦での成長も目覚ましく、アマチュア日本一を決める日本アマチュアゴルフ選手権出場（社福1年 富田大翔）。学生日本一を決める2大会、日本学生女子ゴルフ選手権出場（社福1年 前田愛結）と日本学生ゴルフ王座決定戦（社福1年 萩原大己）に出場するなど、1年目より3つの全国大会すべてに出場選手を送り出すことができました。

本クラブは、技術向上だけでなく、ゴルフ部員の自己実現の場となるよう主体的な活動・行動を促すクラブとすることを基本方針としています。また、兵庫県西部でのジュニアゴルフファース育成、競技普及やゴルフを通した地域交流にも取り組んでいます。

ゴルフ部後援会も設立し、会員と部員との月例コンペも開催しています。企業スポンサーも募集しております。毎年5月の連休には、どなたでもご参加いただける「赤穂ゴルフカップ」を開催いたしますので、ゴルフ好きの校友会員の皆さま、是非ご参加ください。

問い合わせ先

ゴルフ部副顧問 吉田修子 電話 0791-46-2532（入試広報課直通）



卓球部

パラリンピックを目指して

社会福祉学部 4年 北川雄一郎

大学入学後、卓球サークルの勧誘を受け、参加することになりました。サークルでは、練習を重ねるだけでなく、団体戦を組んで試合に出場する機会も得ました。また、車いす卓球のボールパーソンとしてボランティア活動に参加したり、サークルメンバーとの交流を深めるためにBBQや食事会などのイベントにも積極的に参加しました。仲間たちと過ごす時間はどれも貴重で、かけがえのない思い出となっています。

特に印象に残っているのは、2024年に東京で開催された全日本パラ卓球選手権大会です。この大会では、サークルの仲間たちが応援に駆けつけてくれただけでなく、ベンチコーチとして試合をサポートしてくれました。その支えに大きな力をもらい、優勝を果たすことができました。そして、この優勝で5連覇を達成することができました。仲間たちの応援とサポートが、私にとって何よりも心強かったです。

大学2年生の時には、卓球サークルの顧問の先生が他学部のスポーツ心理学の教授を紹介してくださいました。それをきっかけに、メンタル面での指導を受けるようになりました。現在も国内外の試合の際にはその教授からご指導をいただいています。この指導を通じて、試合に臨む際の心構えが大きく変わり、精神面での成長を実感しています。

私には、「パラリンピック出場」という大きな夢があります。その夢を実現するために、どんな壁が立ちあっても乗り越え、その先を見据えながらチャレンジを続けています。大学生生活の4年間で出会った素晴らしい仲間や先生方への感謝の気持ちは尽きません。この出会いをこれからも大切に、夢に向かって歩んでいきたいと思っています。



剣道部

2年連続 全日本女子学生剣道大会出場

第48回関西女子学生剣道優勝大会において昨年に引き続き、女子団体戦でベスト8になり、第43回全日本女子学生剣道優勝大会に出場しました。結果は、一回戦関東3位の明治大学と対戦し、大将戦までもつれ込む展開でした。敗退はしましたが健闘しました。

また、個人戦では第72回全日本学生選手権大会に荻野隼佑（保健教育学科4年）が出場しました。結果は、九州1位の選手と対戦し延長の末、惜しくも敗退しました（2回戦敗退）。第58回全日本女子学生剣道選手権大会に喜多山瑞希（保健教育学科3年）が2回目となる出場を果たしました。結果は1回戦敗退でしたが健闘しました。

創部から男女含め2年連続全国大会の出場は初であり、全国大会で強豪大学と対等に戦える力がついてきています。今後も高戦績を目指して部員一同頑張っています。引き続き、あたたかいご声援・ご支援の程、よろしくお願いいたします。

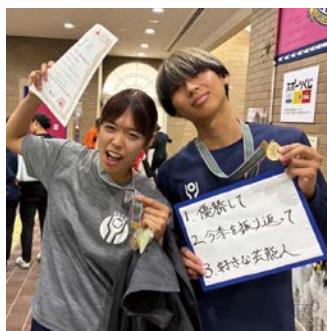


陸上競技部

活動成果報告

本格強化開始から5年目、強化1期生が4年生となった2024年度ですが、陸上競技部は大躍進を遂げました。関西インカレでの女子走幅跳1・2・6位独占に始まり、関西新人戦、関西種目別選手権と全て女子走幅跳で優勝し、関西3大タイトルを制覇しました。また、女子走幅跳で初の国際大会出場、同じく初の国民スポーツ大会代表選手輩出、日本グランプリシリーズでの入賞も遂げました。そして、大学スポーツの最高峰である日本インカレにて、女子三段跳3位、男子走高跳8位と初入賞を果たしました。これは、本学全指定強化クラブを通じて初の日本インカレ入賞＆表彰台という快挙です。その他、様々な大会で膨大な数の優勝・入賞を果たし、部員が思う存分に力を発揮しました。来シーズンはさらなる飛躍を目指して、既に始まっている冬季練習にしっかりと取り組みたいと思います。

引き続きご指導、ご声援のほど、宜しく願い申し上げます。



ひとくちメモ

- 開学／平成9年（1997年）4月
- 開設（大学院）／平成21年（2009年）4月
- 学部・学科／社会福祉学部・社会福祉学科 平成9年（1997年）4月
看護学部・看護学科 平成18年（2006年）4月
発達教育学部（現：教育学部）・児童教育学科 平成26年（2014年）4月
発達教育学部を教育学部と改称 平成30年（2018年）4月
教育学部・保健教育学科
- 大学院／社会福祉学研究科 平成21年（2009年）4月
看護学研究科修士課程 平成24年（2012年）4月
看護学研究科博士課程 平成29年（2017年）4月
教育学研究科 平成30年（2018年）4月
- 教員数／専任72名（助手含む） ●在学生数／1,424名
- 卒業生数（学部）／累計6,574名 ●卒業生数（大学院）／累計76名
令和6年12月現在



姓名・住所等変更届のお願い

姓名・住所・電話番号・勤務先等の変更がありましたら、校友会事務局までお知らせください。変更手続きはHPサイトからも可能です。

▼PCサイトはこちら



住所、氏名等の変更手続きがなければ郵送物（会報誌等）が未着となりますので、必ずご連絡くださいますようお願い致します。

結婚式祝電サービス



ご結婚される卒業生の方に、校友会より祝電をお送りします。

個別校友会助成のご案内

卒業後も集まろう!



関西福祉大学校友会では、同期会・サークルOB会等に、助成を行っています。懐かしい先生に会いに来て、ゼミ会をすることもできます。ホームカミングデーに併せて、クラス会をするのも大歓迎!是非、個別校友会活動助成をご利用ください。

お問い合わせお申込みは右記までご連絡ください TEL 0791-46-2715 (校友会事務局) メール koyukai@kusw.ac.jp



第2回

赤穂ゴルフカップ

おひとりでも2人でも
何人でもお申込みOK!

2025年
5/6

ゴルフを通じて親睦を深め、ゴルフ振興とジュニア育成に寄与することを目的にコンペを開催します。お誘いあわせの上、多数のご参加をお待ちしております。

主催(共催) アース製薬 兵庫県プロゴルフ会 関西福祉大学



開催日	令和7年5月6日(火・祝)
会場	赤穂カンツリークラブ (兵庫県赤穂市鷺和字中河原909)
定員	150名+ジュニア
参加費	3,500円(高校生以下無料) ※プレー費は別にかかります ※昼食付 (高校生以下はプレー費も無料)
参加資格	プロ、アマ問わずどなたでもご参加できます
申込締切日	令和7年4月11日(金) ※ただし、定員になり次第、締め切り
プレー方式	ローカルルール/ハーフコンペ ※ジュニアの組にはプロまたは大学生が帯同します
結果発表	各組プレー終了後にご確認いただき、 随時表彰させていただきます

申込方法	お電話もしくは右記QRコードより お申し込みください
申込窓口	〈事務局〉 関西福祉大学ゴルフ部 (担当: 吉田・山戸) TEL: 0791-46-2735 FAX: 0791-46-2526 E-mail: yoshida@kusw.ac.jp



令和6年の様子はこちら

個人協賛
法人協賛
商品協賛
募集!

事務局までご連絡を
お待ちしております

関西福祉大学 校友会報 第44号

●発行月 令和7年1月
●発行所 関西福祉大学 校友会
〒678-0255 兵庫県赤穂市新田380-3
Tel. 0791-46-2525 (大学代表)
Tel. 0791-46-2715 (校友会事務局)
Fax. 0791-46-2526 (大学代表)
e-mail: koyukai@kusw.ac.jp

◎次号は令和7年7月発行予定!!



●大学 HP
https://www.kusw.ac.jp/



●校友会 HP
https://www.kusw.ac.jp/kouyukai/